

廃棄セロファンを高機能バイオプラスチックへ転換
—セルロース学会第33回年次大会にてセルロース材料の最新研究成果を発表—

第一工業製薬（本社：京都市南区、代表取締役社長：山路直貴）は、レンゴー株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：川本洋祐）と共同で、2026年7月9日（木）から10日（金）に府中の森芸術劇場で開催されるセルロース学会第33回年次大会にて、廃棄セロファンを原料とした高機能バイオプラスチックの研究成果を発表します。

近年、脱プラスチックやカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが加速する中、バイオマス由来材料への関心が世界的に一段と高まっています。本研究では、当社の界面化学を基盤とした低CO₂排出の多糖エステル化技術を用い、セロファン製造工程で発生する未利用資源を高機能性バイオプラスチックとして再利用できることを確認しました。本取り組みは、廃棄物の高付加価値化と環境負荷低減の両立に貢献するものです。

また、企業展示ブースではセルロースナノファイバー「レオクリスタ®」のセラミックス分野への応用と、セロオリゴ糖、CNF磁性粒子、熱可塑パルプ・難燃パルプなどのセルロース材料（開発品）を紹介します。

発表概要

- 学会名：セルロース学会第33回年次大会
公式サイト <https://cellulose-society.jp/>
- 日程：2026年7月9日（木）～10日（金）
- 開催場所：府中の森芸術劇場 ふるさとホール（東京都府中市浅間町1-2）
アクセス <https://www.fuchu-cpf.or.jp/theater/access/index.html>
- 開催方法：ハイブリッド形式（オンラインで視聴可）
- 当社展示：レオクリスタ®のセラミックス分野への応用、熱可塑パルプ・難燃パルプ（開発品）
セロオリゴ糖（開発品）、CNF磁性粒子（開発品）
- 当社ポスター発表内容（発表番号：P-117）
【発表日時】2026年7月10日（金）10:40～12:00
【演題】廃棄セロファンを原料としたバイオプラスチックの開発
【発表者】京都中央研究所 コーポレート研究部 サステナブル材料グループ 難波達也
※プログラムはこちら
https://cellulose-society.jp/news_branch02/news/news_detail_328.html

発表者コメント

多糖類は、カーボンニュートラルの実現に向けて、今まさに高い注目を集めているサステナブル材料です。当社ではいち早くこの可能性に着目し、長年にわたり多糖類の変性技術を磨き上げてきました。本研究では、レンゴー株式会社の原料と、当社の変性技術を融合させることで、新たな価値創出に挑戦しました。当日はその特長と可能性を紹介します。



【本リリースについてのお問い合わせ先】

第一工業製薬株式会社 管理本部 戦略統括部 広報 IR 部
TEL. 075-276-3027 E-mail: d-kouhou@dks-web.co.jp
コーポレートサイト <https://www.dks-web.co.jp>
〒601-8002 京都市南区東九条上殿田町 48 番地 2